

# 学会発表報告

## 耐火物技術協会 原料専門委員会

今回で72回目となる耐火物技術協会の原料専門委員会が、9月7日(金)に岡山セラミックスセンター・セミナー室を会場として開催されました。全国各地から耐火物技術者を中心に約100名の参加者があり、活発な議論が行われました。発表された研究報告11件は耐火物原料をキーワードとしつつ多岐にわたるバラエティに富んだ内容で、酸化物、炭化物、粘土鉱物などの添加が耐火物の特性に与える影響や、不定形耐火物の硬化特性に関する研究、各種原料の合成や特性に関する研究など、基礎から応用に至る貴重な研究成果が報告されました。

岡山セラミックスセンターからは、次の2件の研究発表を行い、世界的に関心が高まる天然黒鉛資源の枯渇問題という課題、あるいは天然資源に乏しい日本がめざすべき高性能な合成原料の開発、といった課題に対して取り組んできた研究成果を報告しました。会場からは多くの質疑が寄せられ、資源・原料問題に対する関心の高さが感じられました。

『木質系炭素の黒鉛化』(発表者：前田研究員)

『 $Al_2SiC_4$ の合成におよぼす原料の影響』(発表者：西川主任研究員)

また岡山理科大学理学部の小林祥一教授より「鉱物資源とその産状」と題して特別講演があり、各種の鉱物鉱床の産状や、地球の地殻活動から見た鉱床の成因など、地球鉱物学的内容がわかりやすく解説されました。天然鉱物が有価なものとなり、人類に役立つ"資源"となるためには、経済的に成り立つことが必須であるとの見解も示され、資源・原料について改めて考えさせられる示唆に富んだ内容でした。

## 行事案内

### 第1回 電子天びんに関する基礎セミナー

電子天びんの適正な管理や高精度な測定のための技術を学び、益々重要性が増している品質管理の高度化に貢献することを目的としてセミナーを開催する。

**日時** 平成25年2月1日(金) 10:00~15:00

**会場** 岡山セラミックスセンター セミナー室

**概要** メトラー・トレド社の協力を得て、電子天びんの基礎、管理ノウハウ、管理手法を学び、実機を用いたデモンストレーションを行い電子天びんについて研修する。

**参加費** 主催・共催団体会員 5,000円 会員外 10,000円

(共催団体：日本セラミックス協会中国四国支部・耐火物技術協会中国四国支部)